

海外フロンティア市場販売促進活動の支援 香港における「いちご」フェア報告書

実施期間：2月17日（金）～2月23日（木）
3月17日（金）～3月23日（木）

1 本事業の目的等

○ 事業の目的

複数産地の複数品種の「いちご」を1カ所に集め、ジャパンブランドとして、販売促進活動を実施することにより、日本産いちごの更なる知名度の向上及び輸出量の拡大を目的とする。

○ 事業の必要性

海外への提案を安定的かつ長期的に行なうためには、特定地域からのみの提案ではなく、同一品目の複数地域によるリレー形式の出荷を行なう必要がある。

また、海外の競合国との販売競争が激化する中、各産地がバラバラで販売促進活動を行うのではなく、ジャパンブランドとして各産地が一体となって販売促進活動を行うことが重要である。

○ 期待される効果

国内で生産されているいちごを、産地毎・ブランド毎ではなく、ジャパンブランドとして一本化してPRすることにより、ロットのまとまりやアイテムの増加、出荷期間の長期化等により販売力の強化が効果として期待できる。

○ 事業概要

香港において、複数産地の複数品種の「いちご」を1カ所に集め、販売促進活動を実施

○ 検討会参加メンバー

検討会の概要 (目的、構成員の選定理由等)	構成員		備考
	氏名	所属・役職	
九州農産物通商(株)、 ブランドおおいた輸出促進協議会、 熊本県農畜産物輸出促進協議会	波多江 淳治	九州農産物通商(株)代表取締役	
	保坂 裕二	九州農産物通商(株)海外事業部 部長	
	中土 真輝	九州農産物通商(株)海外事業部 課長	
	張 健	九州農産物通商(株)海外事業部 係長	
	土田 真由美	ブランドおおいた輸出促進協議会 大分県庁農林水産部おおいたブランド推進課	
	井上 累実	ブランドおおいた輸出促進協議会 JAおおいた 流通販売推進室	
	小林 二郎	JA熊本経済連 総合企画部マーケティング戦略課 課長	
	桑原 達郎	JA熊本経済連 総合企画部マーケティング戦略課	
長崎県庁	原田 幸勝	長崎県庁 農産加工流通課 流通振興班	*オブザーバー

3 香港におけるイチゴフェアの概要

(1) 開催時期・店舗

No	項目	実施時期	開催店舗
1	1回目	2月17日(金)～2月23日(木)	香港 一田(YATA)様 大埔店、全灣店、屯門店、新蒲崗店、觀塘店

No	項目	実施時期	開催店舗
2	2回目	3月3日(金)～3月9日(木)	香港 一田(YATA)様 大埔店、沙田店、屯門店、觀塘店、西環店

○品種

- ・福岡県産：あまおう
- ・熊本県産：ゆうべに、ひのしずく
- ・大分県産：さがほのか、ゆふおとめ
- ・長崎県産：ゆめのか、おいCベリー



4 香港におけるイチゴフェアの詳細

○大埔店

- ・ 店舗入口付近で、6種類(あまおう、ひのしずく、ゆうべに、ゆふおとめ、ゆめのか、おいCベリー)を販売。
通常扱われていない、「ゆふおとめ」や「おいCベリー」を販売



入口付近で販売



日本産としてPR



複数種類を購入



大勢のお客様が集まる様子



おいCベリー、ゆめのか



ゆふおとめ

4 香港におけるイチゴフェアの詳細

○全灣店

- ・ 棚に5種類(あまおう、ゆうべに、ひのしずく、さがほのか、ゆめのか)のいちごを並べて販売。
- ・ 知名度の高い「あまおう」、「ひのしずく」を手にするお客様が多かった。



棚での販売



販売促進員



ゆうべに、ひのしずく



あまおう



さがほのか



ゆめのか

4 香港におけるイチゴフェアの詳細

○屯門店

- 入口付近のコーナーの棚一面に4種類(あまおう、ゆうべに、おいCベリー、さがほのか)のイチゴを並べて販売。入口付近の目立つ場所にあり、大勢のお客様が立ち寄っていた。



入口付近の棚で販売



棚一面のイチゴ



販売の様子①



おいCベリー



さがほのか



棚のアップ



販売の様子②

4 香港におけるイチゴフェアの詳細

○新蒲崗店

- ・ 入口の販売コーナーで、6種類(あまおう、ひのしずく、ゆうべに、さがほのか、ゆふおとめ、ゆめのか)を販売。
入口付近の目立つ場所での販売により、大勢のお客様が立ち寄っていた。



入口付近の棚で販売



いちごの説明



日本産をPR



販売の様子



棚の様子①



棚の様子②

4 香港におけるイチゴフェアの詳細

○観塘店

- ・ 入口付近の特設棚で4種類(あまおう、ひのしずく、ゆうべに、ゆめのか)を販売。
近くの常設棚との相乗効果もあり、販売は好調であった。



入口付近の棚で販売



特設棚の様子



常設棚の様子



販売の様子①



販売の様子②



ひのしずく

4 香港におけるイチゴフェアの詳細

○沙田店

- ・ 棚に6種類(あまおう、ゆうべに、ひのしずく、ゆめのか、ゆふおとめ、おいCベリー)のいちごを並べて販売。
- ・ もっとも目につきやすい棚での販売を行なった。



棚での販売



販売促進員による説明



比較して選択



ゆめのか



ひのしずく



ゆうべに

4 香港におけるイチゴフェアの詳細

○西環店

- ・ 果実売場入口に設置した平台と、近くの常設棚で、5種類(あまおう、ひのしずく、ゆふおとめ、ゆめのか、おいCベリー)を販売。
新しい店舗ということもあり、多くのお客様が来店されていた。



ハローキティとコラボした店舗



常設棚の様子①



平台での販売



おいCベリーをPR



おいCベリー



常設棚の様子②

5 事業における効果及び課題

○事業における効果

①新規取扱

- ・ これまでYATA様において、取扱のなかった「いちご」の販売に繋がった。

②集客効果

- ・ 複数種類の「いちご」を1カ所に集めて売ることにより、多数のお客様を、売場に集めることができた。

③販売促進効果

- ・ 複数種類を並べることにより、複数種類を同時に購入されるお客様がいるなど販促効果が確認できた。

○課題

①品種による違いの明示

- ・ 品種の違いに関して、お客様から質問された。多くのお客様が違いに関する説明を求めている。

②傷みによる影響

- ・ 同時期・同条件で複数品目を送ることで、他のいちごが問題なく、一部の品種で傷みが発生した場合、その品種の評価が大きく下がる。
* 他の「いちご」と比べ、傷みに弱いと評価される。

①産地連携によるフェアの開催

各産地と連携し、複数種類の「いちご」を並べることにより、多くのお客様を集めることができた。さらに、品種を増やし、フェア開催を目指す。

②品種ごとの説明

品種の違いを求めるお客様への対応を検討する。

(例えば)

- * 特徴をまとめた資料を販売促進員に渡す
- * 特徴をまとめたパネルを作成する



③傷みへの対応

傷みが出た産地に対して、対応策を求める。また、傷みへの対応をしている産地や傷みに強いものを提案する。